
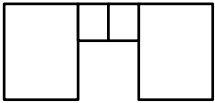
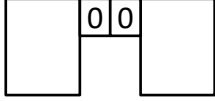

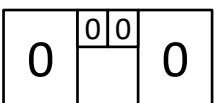
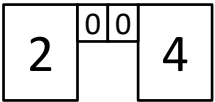
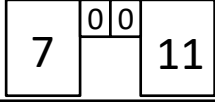

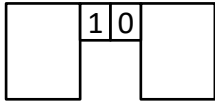

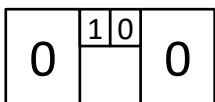

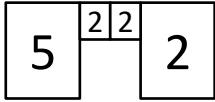
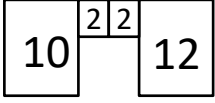


審判員の手引き(第19回全国中学選抜卓球大会)【相互審判用】

- ①審判員は、各チームより登録選手が1名ずつコートに出ることとし、原則として1マッチを通して行う。
- ②ベンチに入れるのは登録された選手8名、監督1名、アドバイザー1名以内である。

	主 審	主審の ジェスチャー	副 審	カウント器の表示
地元審判員(コート主任)が整列・オーダーの確認				
試合前	ラケットのJTТАの確認 ボールの選択 サービス・レシーブ・エンドの選択 最初のゲームのサーバー「S」 レシーバーの「R」を○で囲む ダブルスの場合は「S」・「R」を 記入 練習開始		スコアカードは後ろから前へ 選手がエリアに入ったら → 練習時間の計測(2分) 2分後右手を高く挙げ 「タイム」宣告	 
第1ゲーム	「ファーストゲーム・○○トウ サーブ・ラブオール」 ポイント宣告 (新しいサーバーから宣告) 勝者のポイントから 「11-7 ゲームトウ○○」	【サービス交替・ ゲーム、マッチ終了時】 	ストップウォッチをスタート 主審の宣告後直ぐに カウント器操作 6ポイント毎に右か左に45度 水平方向に回転 しばらくそのまま表示	  
休憩時間	対戦記録用紙にスコアを記入 (台の上で書かない) 試合球の確保(破損の確認)	【ポイント宣告】 	休憩時間の計測(1分) (台上の清掃) 主審に試合球を渡す 1分後右手を高く上げ 「タイム」宣告	
第2ゲーム	ダブルスの場合は「S」・「R」を 記入 「セカンドゲーム・△△トウ サーブ・ラブオール」		第1ゲーム同様	
ファイナルゲーム	「ファイナルゲーム・○○トウ サーブ・ラブオール」 「12-10 ゲームアンドマッチ トウ○○」 試合球の確保 ポイントスコア、ゲームスコア の記入	【レット・ストップ・タイム】 	どちらかが5ポイントに達した 場合ポイントを入れ替える しばらくそのまま表示 主審に試合球を渡す 対戦プレートの数字を 入れ替える(コート主任)	 
団体戦終了後、地元審判員(コート主任)が整列・宣告				